慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	職場におけるメンタル・タフネス強化に関する一考察： リーダー育成のためのメンタル・タフネス教育モデルの提言
Sub Title	
Author	井上, 英二(Inoue, Eiji) 大藪, 毅(Oyabu, Takeshi)
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2010
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2010年度経営学 第2499号 論文要旨のタイトル：職場におけるメンタル・タフネス強化に関する一考察
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002010-2499

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学籍番号 80930079
氏名 井上 英二

主査 大藪 毅
副査 1 渡辺 直登
副査 2 坂爪 裕

研究テーマ

職場におけるメンタル・タフネス強化に関する一考察

内容の要旨

本論文では、まずグローバル競争の激化に伴う急激な国内企業を取り巻く環境変化に対応するためには、強靭な精神力を持ったリーダーの存在が必要であることを主張した。同時に現代の国内の経営組織が持つリーダー育成の構造上の問題点を指摘した。そして現代社会において求められている強靭な精神力を持つリーダーの育成は、単にテクニカル・スキルを育成するだけでは難しく、メンタル・スキルの育成が必要であることを主張した。そしてメンタル･スキルの育成には、応用スポーツ心理学で研究されているスポーツ・エリートに適用されているメンタル・タフネス強化に関する研究が有効である可能性があることを指摘した。そして、スポーツ競技におけるメンタル･タフネス強化法を基に､職場におけるリーダー育成教育の視点から比較検証し、経営組織が取り組むべきリーダー育成手法の一つの可能性に関して研究をおこなった。その分析手法は、経営組織において役員以上の職位であるビジネス・エリートを対象とした面接調査と事例研究であり、メンタル･タフネスの共通要素、それらを支える仕組み、および開発過程に注目したものであった。その結果、スポーツ競技におけるメンタル・タフネス開発の手法が、職場におけるリーダー育成に適用できる可能性を立証した。同時に強靭な精神力を持つリーダーを育成するポイントとして、修羅場経験やそれを支える周囲の支援の必要性も導いた。

結論として、これからの日本のリーダー育成教育には、メンタル・タフネス・マネジメントを支える MPDC サイクルが有効であること、またそれを支える仕組みの構築が重要であることを明らかにした。この考察は、管理者に必要な内面的要素に合致し、状況に応じて対応していくために有効性があり、管理者を取り巻く職場環境をも改善できる人材教育モデルとして機能すると思われる。またメンタル・タフネスを持つ管理者の下で育成された部下は、OFF-JT だけでなく、OJT においてもその体得方法を知ることが可能となるため、メンタル・タフネス強化の正のスパイラルを構築することを可能にさせると示唆した。